□はリンク　　※はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名　総社　※

日付　平成　20年 12月 19日

評価機関名　特定非営利活動法人 ライフサポート

評価調査員　在宅介護経験15年

評価調査員　介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※

1．評価結果の概要

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

このグループホームの特長は、何と言っても母体の保育園の園児が定期的に、顔馴染みになっている面々で訪れてくれる事だろう。しかも4～5名の子供がユニットに訪問してくれて、利用者と交流してくれる事に大きな意義がある。利用者の3つのグループで1～2名の子供と季節の作品を作ったり、肩たたきをしてくれて、子供と利用者の触れ合いが出来る事に利用者も感動し、心の交流から良い思い出が残るだろう。最も効果的な交流会が毎月第2・4水曜日に実現している。

次に毎食美味しい食事が出来る事である。3菜1汁の献立は利用者の一番の楽しみを積み重ねてくれる。そして母体の理事長から米や野菜等の自家製作物が供給され、無農薬と新鮮な食材を口にする事が出来る。それらの食材の中から調理当番に当たった職員が前日の献立を参考にしながら、自分の腕を振るって調理をしてくれる。利用者が「今日はあんたの料理か、あんたの作るご飯は美味しい」と言ってくれた事を励みにしているそうだ。

もう一つが、毎日の入浴であろう。母体の方針でもあり、利用者に毎日入浴して貰い、清潔に気持良く生活して貰いたいという願いの表れである。健康に問題なければ、皆入浴の楽しみが習慣づいている。

これらのケアを毎日行っている職員達の対応の良さもある。先ず利用者の人格を尊重しているのは当然の事であるが、それを実現していく為の心掛けがどのようにあるかである。「職員一人ひとりが、このホームに入所していたら如何思うか、どのように考えるか。その気持で接して下さい。と、職員にも何時も言っています」「ドアをノックするにしても、その気持があるかどうかで、ノックの仕方によって職員の気持が利用者に伝わる」と管理者は言ってくれた。そして「利用者の生きて来た人生と、これから生きていく道を大切にして下さい」ともよく話しているそうだ。職員は皆控え目であるけれど、その人の出来る事は積極的にして貰うように支援している。このホームは女性が多いので、やはり家事の手伝いになる。皆進んで分担を決めてホームの仕事をこなしていた。そして利用者同士、利用者と職員とのコミュニケーションも出来ていて、管理者と職員が気持良く仲良く仕事をしている姿が、利用者にとって一番の鏡であるという事を感じた。

総社のユニットは設立して丸5年が経過、神楽の里も4年が過ぎた。これから色々な課題も生じて来ようが、上記したようなペースが維持出来れば、今後もきっと利用者にとって「来てよかった、ここで暮らせて良い人生が送れた」と思われるホームであろうと思う。

特に改善の余地があると思われる点

利用者にとって一番の楽しみ・思い出は、外出したり、買物したり、ピクニックに行ったりする事であろう。加齢と重症化によって実現する事が難しくなるが、遠くに行かなくても、このホームの立地は神楽公園もあるので、このような立地も活用して、戸外で楽しみ、そしてその記録を残す方法を具体的に考えて、後日でも一人ひとりの思い出をしっかり持てるような記録を作ってあげて欲しい。

２．評価結果（詳細）

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か
記述回答	1、 自主評価について･･･ 2ユニット化した昨年度に理念を考えたばかりなので、これを改善しなければならない点はないが、ホームの特長や認知症への考え方等を、地域にもっと積極的に情報発信していきたいと考えている。 2、 全体的に見て･･･ 理念は『ゆったりしたリズムで、伸び伸びとした生活をして頂きます。地域の人々や自然との触れ合いをして頂きます。出来る事はして頂き、笑いと楽しみのある生活をして頂きます。楽しい雰囲気の中で美味しく食事をして頂きます。何時も私達が傍にいます』である。ホームの利用者の生活を見たり、話しを聞いたりしていると、この理念に提唱している事が、一つひとつの生活行動に生きており、職員の支援の姿から心地良さを感じた。

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か
記述回答	1、 自主評価について･･･ ホームのハードな機能を利用者の生活動線から上手く活用していると判断した。山の中腹にあり、外は坂道も多いので利用者にとって自由度に制約があるが、出来るだけ外の公園等を活用していけたら良いと思う。 2、 全体的に見て･･･ 神楽の里の外に少し広い空間があり、ここでバーベキュー等をして、皆で楽しんでいるそうだ。両ユニットの人達が、日頃から行ったり来たりして、交流出来ると良いだろう。総社保育園から定期的にホームを訪れてくれたり、保育園の行事にも利用者が参加している。母体が保育園という関係を上手く活用出来るのは、このホームの一番恵まれた境遇だろう。園児との関係、職員との関係、家族との関係等の人間関係が楽しい人生を作ってくれるのは嬉しい。

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者･家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り･情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法･盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

Ⅲ ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見･対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か
記述回答	1、 自主評価について･･･ 利用者は家事の一部を分担して生活している。調理に関わっている人、配膳や片付けに関わっている人、衣服の洗濯や片付けに関わっている人、掃除に関わっている人が、仕事と時間帯に応じてよく働いている姿を見る。その為に共通している時間と私物の時間の使い分けが必要になってくる。利用者に向いた生活の仕方をよく考えている。 2、 全体的に見て･･･ このホームに入所する前は、病院やその人の住まいで、色々の障害によって、精神的におかされていた暮し、気持の高ぶり、パニック状態の生活や行動をしていた人が、このホームに来て、職員の暖かい気持に触れ、優しいケアを受ける事によって、見事に人間回復して、医師や看護師、他の施設の介護士からその変身ぶりに驚きの声が聞こえる。一番喜んでいるのは本人と家族である。

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。
記述回答	1、 自主評価について･･･ 母体の保育園長と管理者･職員と連携してホームの運営と利用者のチームケアを上手くこなしている。その関係の中の保育園児という可愛い子供の存在は、グループホームにとって欠かす事が出来ない。園児の訪問に利用者の表出する笑顔と歓声は言葉で言い尽せない。 2、 全体的に見て･･･ 津山市や県北各地で高齢者介護や障害者支援の施設を運営している鶯園を母体として色々な事業展開をしている傘下でのグループホームなので、その恩恵を受けながら、認知症ケアとサービス提供が出来ている。認知症になっても、人間としての基本をしっかり生活の中で定着させ、楽しい人生をずっと送って貰いたいという願いが、理念を始め、運営体制の中に生かされている事がよく判った。利用者のケアに一番大切な介護計画と記録類が、職員の日常の業務の中にしっかり根付いていけるよう、尚一層の改善努力も期待したい。